令和８年度第１回教育課程編成委員会　議事録

【日　時】令和８年７月 10 日（金）10：00～10：45
【場　所】こころ医療福祉専門学校壱岐校
【委　員】壱岐市社会福祉協議会　会　長　安川　哲子　様
【委　員】壱岐市立老人ホーム　所　長　吉田　博之　様
【委　員】特別養護老人ホームハッピーヒルズ　施設長　土屋　耕一　様
【委　員】こころ医療福祉専門学校壱岐校　校　長　後藤　久志
【委　員】こころ医療福祉専門学校壱岐校　学科長　野田比呂恵
【事務局】こころ医療福祉専門学校壱岐校学生部　崎田弥生
堤　広志

議　　題
（１）教育方針等について
（２）令和８年度重点目標
（３）介護福祉科の教育方針
（４）令和７年度経過報告と令和８年度行事予定
（５）教育課程編成について
（６）在籍学生数
（７）所属職員

内　容
（１）教育方針等について
（１）配付資料に基づき、こころ医療福祉専門学校壱岐校教育理念について確認。
（校　長）　今年度より新たに掲げられた「地域の全ての産業と高齢化社会を包括的に支援できる組織を目指す」というビジョンの具現化のために、グループの教育機関の役割として、本校卒業後にそれぞれの就職現場で即戦力として働ける介護人材を送り出せるように指導を行っています。また今年度より学校教育目標に、「一人一人の学生を大切にする教育活動を実施」を新たに追加しました。日本人学生全員と留学生の数名は、地元の施設に就職しますので、壱岐市における介護人材の確保に貢献できるように人材の育成に努めています。今までに８期生までの 138 名を送り出し、多くの介護施設に就職させています。本校を巣立った卒業生の地道な頑張りによって、ここ数年本校に対する市民の評価感が毎年高まってきているように実感しています。今後は、市内の中学校や高校の生徒数も激減しますし、介護職を目指す者が少なくなっているという傾向にもあります。将来的な介護職の人材不足については社会的にも問題になっていますが、壱岐市内の人口も全世代的に減少をしています。しかし、市内の高年齢化率は 40 パーセントを超えていますので、介護職を目指そうと思っている者には、是非本校でしっかり学んで、介護福祉士の資格を取得させたいと思います。
　また、高卒の学生と、資格持って就職してくる者とではどのよう

に違いを感じておられますか。

（委　員）　介護資格がない新卒の方でも、介護を仕事としてしたいと思えば実務3年で資格は取れるようになりますが、早く専門的に介護の仕事がしたいと考えるかは本人次第によるかと思います。
今後、若手を育成し介護を仕事にしたい者を増やすためには、壱岐校での2年間の学習によって資格が取れるということを、より多くの方にPRしていただければ、介護人材の育成に繋がるのではないかと思っております。

（校　長）　そのことについては私も会議のたびにお願いしているところです。話は変わりますが、学生にとっては、施設や学校内での実習など体験的な情報は、非常に頭にも入りやすいと思います。学習したことを体で覚えることは大変大切であると思います。本校に入学した目的を達成するために、学んだ知識や技能を十分現場で発揮できるよう育成していきたいと思います。ここ数年は学生も多く、1 年生、2年生合わせて48名の学生が在籍しています。学校内に併設する寮はほぼ満室の状態です。高校生が減少する中、日本人学生の中には、一度島外の学校に進学したり就職したりした者で、帰ってきてから再度本校で学び直したいという者が毎年数名おります。一度島外へ出て地元のありがたさを再認識するのも一つの経験かもしれませんが金銭面でのリスクは大きいです。そのことは中学校の進路説明会や高校のガイダンスでもしっかり説明を行っています。

（2）令和8年度重点目標

（校　長）　学生への指導力や授業力を高めることは教師としての使命です。専門性はスキルアップするものですから、常に向上心をもって指導に当たってもらっています。年に一度は研修にも参加するように勧めています。実際よく勉強もされています。国家試験においては日本人学生全員合格だけでなく多くの留学生の合格を目指します。昨年は今まで最高の 6 名の留学生が合格しました。日本語能力が高いことが大きな要因になると考えています。本校では、2年間介護の勉強を行っており、充実した実習も行っているため、施設でも重宝されています。学生募集に関しては、例年日本人 10 名、外国人 15 名の25名を目標にしています。年々市内の高校生は減少していますので、今後は留学生が多くなると思いますが、実習先やアルバイト先の確保をしっかりしていきます。いろいろな感染症については、徹底した予防対策を行っておりますし学生も徹底してくれているので現在は落ち着いています。

（学科長）　今年度は 1 年より国試対策を行っており、教師が解答・解説を行う時間をとっております。さらに 2 年は復習を行い、弱点である制度・法律など各科目での採点を行い、自己の弱点を補うように授業

を行っております。まだ点数は足りていない部分はありますが、年々勉強に対して意欲が高く、モチベーションも上がってきているので今後の伸びに期待したいと思います。

（３）介護福祉科の教育方針

（学科長）　本校の指導は、学園の理念を大切にしながら、「倫理観」や「こころ」をしっかり育てることを前面に出しています。身に付けた技能や知識を使う上でとても大切なことだからです。介護施設でも色々な分野でＡＩの活用が進んでいますが、どうしても人間にしかできないところがあると思いますし、介護職は特にそういった面が多いのではないかと思います。

（４）令和７年度経過報告と令和８年度行事予定

（校　長）　新型コロナウイルス感染症が５類となり、一昨年度より入学式や卒業式に来賓や保護者の出席を制限することなく行えるようになりました。会場も大きな場所で行うことができ、学生達も喜んでいました。宣伝活動としまして、オープンキャンパスや情報発信としてのホームページの更新を充実させ、中学校の進路説明会にも参加させてもらっています。昨年度は日本人学生の入学者は社会人 1 名でしたが、広報活動の甲斐があって今年度は７名が入学しました。

（委　員）　現在、少子化により島内の高校生の数が減少している中、島外の進学も相当数おり、新卒の島内就職は年々厳しくなってきています。その中でも現在は一昨年の卒業生が６名、2 年生に１名、新卒以外に1名の計8名の生徒さんが卒業後に島内の介護施設に就職していただければ若手不足の問題も解決していけると思っておりますので、今後も介護人材確保のためにも頑張っていただきたい。

（５）教育課程について

（学科長）　令和 3 年度から「人間関係とコミュニケーション」のカリキュラム変更が行われ、30 時間から 60 時間へ変更されております。本校は朝と夕方に分けてアルバイトをしているため、これ以上の教科の増加は考えていませんが、既定の時間数は十分に確保しています。国家試験については、受験方法等の変更にも対応できるようにしています。国家試験に向けた模擬試験もかなりの頻度で行っています。試験後は自己分析を十分に行わせ、自己の能力向上と対策に役立てるようにしています。また、現在留学生は全員ミャンマー人ですが、日本語能力が高いので、昨年度と同じように多くの合格者が出るように指導したいと思います。第三段階の実習が終わってからどれだけ頑張れるかが、合格のカギになると思います。留学生の多くは、長期的に日本での生活を希望していますので、日本の文化やルールの理解、社会人としてのマナーをしっかり身に付けさせます。

（委　員）　2 年間で 3 回の実習を実施してありますが、昨年度、今年度の留学生に関しては、言語による障害はほとんどなく、また実習内容に関して特に問題があるという報告は受けておりません、文化や習慣の違いはあるとおもいますが、引き続き学校でも資格取得に向け頑張っていただきたいと思っております。できる限り現場で指導できることはタイムリーに指導できるようにしたいと思います。

（６）在籍学生数

（学生部）　今年度は日本人 7 名と留学生 24 名の計 31 名の学生が入学しました。1，2 年生ともに日本語能力が高く、授業や実習においても指導がしやすくなったという声を聞いています。昨年度の入学生は 19 名でしたが、残念ながら 2 名が除籍となりました。現在、2 年生は日本人学生 1 名、留学生 16 名、1 年生は日本人学生 7 名、留学生 24 名の学生が在籍しており、全学年で 48 名の学生が在籍しています。私たちは学生たちが壱岐校で教育活動を行う 2 年間をしっかり勉強や実習に集中できるように学習面は勿論、生活面においてもあらゆる指導を行っています。また、常に途中退学をしないように指導も行っています。

（７）所属職員

（校　長）　年度当初と職員構成が変わりまして、現在表に示したようになっています。生活支援技術の点字については、島内での講師の確保が難しく、一昨年までは、福岡からリモート授業をお願いしておりましたが、昨年度からは集中講義として来校していただけるようになりましたので、すべての授業を対面で受けられるようになっています。

（８）その他

（学生部）　留学生については、長期日本での生活を希望している者が多数ですので、日本で生活する上での基本的な習慣や常識を徹底して指導しています。母国の生活とは異なることやギャップも多々あるようですが、日本で生活する以上は、日本のルールに従って欲しいと思っていますので厳しめに指導を行っているところです。ここ数年は、留学生の日本語能力が高く、こちらの話が十分に理解できているようなので、指導がしやすくなりました。寮内の清掃についても、比較的清潔にできていると思います。

（学科長）　実習の時間は長く、学校で行う座学と現場での実践的な学習とではそれぞれ違いがあります。この点だけは指導してほしいというような気付きがありましたら、ご指導いただきたいと思います。

（委　員）　施設としては、賃金のベースアップを行ったが、それでも壱岐の水準は低いところにある、これ以上のベースアップは利用者が増え

ていかないと厳しい状況にあるが、現在利用者の増加についても、壱岐の高齢者（70，80 代）は比較的に元気な方が多く、在宅介護を行う家庭が増えてきている現状があり、利用者の急激な増加が見込まれない中、留学生が島内に長期的に介護職を続けていくには、それなりの制度や条件作りが必要になると思っております。

（事務局）　本日いただきました貴重な意見は今後の教育課程の編成や壱岐校の学校運営に活かして、壱岐市の介護職員確保に繋がるようさらに努力してまいります。令和 8 年度第 1 回教育課程編成委員会を終了いたします。